

平成29年 業種別労働災害発生状況

(平成29年1月～12月)

旭川労働基準監督署

区分 業種別	平成29年確定			平成28年確定			対前年		業種 割合 (%)	平成27年確定			
	死 亡	休業4日 以上	合計	死 亡	休業4日 以上	合計	増減数	増減率		死 亡	休業4日 以上	合計	
全 産 業 計	(3) 13	485	498	(1) 9	491	500	-2	-0.4	100.0	(2) 6	478	484	
除 く 鉱 業 計	(3) 13	485	498	(1) 9	491	500	-2	-0.4	100.0	(2) 6	478	484	
製 造 業	2	94	96	1	95	96		±0	19.3		89	89	
内 訳	食 料 品		46	46		35	35	11	31.4	9.2		36	36
	木材木製品		12	12		8	8	4	50.0	2.4		8	8
	家具装備品		8	8		11	11	-3	-27.3	1.6		8	8
	紙・パルプ					1	1	-1	-100.0			4	4
	窯業・土石		5	5		7	7	-2	-28.6	1.0		1	1
	金属・機械	1	6	7	1	15	16	-9	-56.3	1.4		15	15
	そ の 他	1	17	18		18	18		±0	3.6		17	17
鉱 業													
土 石 採 取 業											1	1	
建 設 業	(3) 5	58	63	2	64	66	-3	-4.5	12.7	2	83	85	
内 訳	土木工事業	(2) 3	25	28		15	15	13	86.7	5.6	1	17	18
	建築工事業		20	20		21	21	-1	-4.8	4.0		32	32
	木造建築業	1	9	10		12	12	-2	-16.7	2.0		17	17
	そ の 他	(1) 1	4	5	2	16	18	-13	-72.2	1.0	1	17	18
道 路 貨 物 運 送 業	1	59	60	(1) 2	64	66	-6	-9.1	12.0		50	50	
そ の 他 の 運 輸 業		17	17		19	19	-2	-10.5	3.4		13	13	
陸 上 貨 物 取 扱 業		4	4		5	5	-1	-20.0	0.8		1	1	
林 業		8	8		10	10	-2	-20.0	1.6		7	7	
卸 ・ 小 売 業	1	63	64	1	69	70	-6	-8.6	12.9		63	63	
清 掃 業	1	25	26		30	30	-4	-13.3	5.2		41	41	
そ の 他 の 事 業	3	157	160	3	135	138	22	15.9	32.1	(2) 3	131	134	

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）を集計したものです。

死亡欄の（ ）内の数値は、交通事故で内数です。

※管轄は、旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の2市11町1村です。

平成29年 死亡災害発生状況

(平成29年1月～12月)

旭川労働基準監督署

番号	発生月	曜日	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1	1	木	13時台	警備業	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	タイヤショベルで工事現場内の排雪作業中、交通誘導をしていた被災者と接触したものの。
2	2	水	10時台	清掃業	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	タイヤショベルでガソリンスタンド内の除排雪作業中、後方を歩行していた被災者と接触したものの。
3	2	火	16時台	建設業	交通事故(道路)	トラック	被災者と同僚の2名で、トラックで資材を運搬するため国道を走行中、緩い上り坂の直線道路でスリップし対向車線をはみ出し、道路脇の支柱に激突したものの。
4	2	火	14時台	畜産業	墜落・転落	屋根等	被災者は豚舎(3階建て、軒高6.7m)に上がり、スコップ等で雪庇を落としていたところ、屋根から墜落したものの。
5	4	水	8時台	建設業	墜落・転落	足場	木造2階建てアパートの新築工事において、被災者は外壁造作のため足場の2段目(高さ約3.8m)で作業中、足場の外側から地面に墜落したものの。
6	4	火	8時台	製造業	爆発	材料	鋳物工場で溶解炉から溶銑が流れ出なくなったため、炉の底蓋を開け溶銑を放出したところ、炉の床に溜まった水と接触し水蒸気爆発が起こり、作業員1名が死亡、5名が負傷したものの。
7	6	火	16時台	建設業	交通事故(道路)	乗用車	被災者は現場作業を終え、社有車(ライトバン)を運転し帰社する途中、遮断機と警報器の無い踏切で、普通列車(1両編成)と衝突したものの。
8	7	日	13時台	建設業	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	被災者はブル・ドーザーで農地の整地作業中、エンジンを掛けたまま運転席を降り、クローラ上に乗っていたところ、同ブルが後進しクローラに轢かれたものの。
9	8	火	15時台	小売業	その他	起因物なし	被災者は長時間労働による心疾患を発症し店内で倒れたものの。
10	9	水	13時台	製造業	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械	被災者はトウモロコシ収穫機の修理作業を終え、試運転等を行っていたところ、当該機械のトウモロコシを取り込むベルト部分に巻き込まれたものの。
11	10	火	9時台	運輸業	その他	起因物なし	被災者は長時間労働による心疾患を発症しトラックの荷台上で倒れているところを発見されたものの。
12	11	月	5時台	建設業	交通事故(道路)	乗用車	高速道路のインターチェンジから本線に合流する地点でパトロール車がUターンをしたため、後方から本線を走行中の大型トレーラーと衝突し、パトロール車に乗っていた1名が死亡、1名が負傷したものの。
13	12	月	14時台	畜産業	激突され	その他の環境	牛舎の清掃作業を行うためフリーバーン(牛が自由に寝ることができる褥殻が敷かれたスペース)で1人作業をしていたところ、牛に激突されたものの。